



清水 雅人

設計演習 I

課題
CAD/CGIによる建築の
設計・製図

3年2組

担当=
柳田 武

清水 雅人

今回、私がCAD班を選択したことには理由がありました。これまでの作品では、内容を重視するため、提出期限ぎりぎりになって、やっと図面に取り組むというようなことが多く、今回用いた短大卒設では、1/200

の縮尺でトイレや、家具のディテールが全くできておらず、前々から、もう一度設計し直そうと考えていたのです。AutoCADにより、寸法入力しながら、画面上で試行錯誤して今回の作品が仕上がりました。

指導=柳田 武

CADとは、本来、「コンピュータの支援によるデザイン」を意味する訳であるから、単なる図面清書の道具ではなく、あくまでもそれを使って設計することが目的である。しかし、そうはいつでも、すぐにCADを使って設計に取りかけられるというわけではない。鉛筆や定規を使って自由に線が描け、自分の意図

するところを図面として自由に表現出来るようになるためにはそれなりのトレーニングが必要のように、設計を進めるための「デザインの道具」として自由に使いこなすためには、CADにおいても事前の準備が必要である。実務の世界では、ほとんどの図面がCAD図面に置き換わりつつある。一口に図面といっても、実務における図面はいろいろで、実施図面、詳細図、原寸図、施工図、鉄骨の原寸図、等々。その中には、設計そのものというよりは、手書きの文章をワープロで清書するのに近いCAD図面もある。が、いずれの場合でもCADそのものの基本的な操作が出来るということ

と、CADの特性を活かした使い方が出来るということが前提である。キチンとした図面を描いてCADの基本的な機能や効果的な使い方をマスターし、次の段階で、モニター画面上で試行錯誤しながら設計を進める「CADを使って設計する」といった段階へ進んでゆくこととなる。もちろん、ディテール、おさまり、といった建築の細部に関わる基本的な知識の習得も必要であるが、過去の課題作品を改めてCADで図面化し、その作業を通じて、設計の中身そのものも更に改良を加えてゆく。この作品は、そういう段階におけるCADとの取り組みのひとつの成果である。